

サステナビリティ

サステナブル社会の実現に向け、SDGsに広く貢献できる経営に取り組みます。

エネルギー市場を取り巻く環境は急激に変化しています。特に近年では、「2050年脱炭素社会の実現」に向け、2030年度に温室効果ガスを2013年度比46%削減を目指すこととするなど、「脱炭素化」への取り組みが一層加速しています。

東光高岳グループでは、2021年12月に「サステナビリティ基本方針」を策定し、事業内容や活動プロセスなどを通じたCSR重要課題の解決とSDGsへの貢献を目指し、ESG経営に取り組んでいます。

(サステナビリティ基本方針)

東光高岳グループは、企業理念の実践を通して二つの使命を果たし、エネルギーの未来を切り拓いていきます。

- 変わらぬ使命: 電力の安定供給や効率的な利用を支える機器・システムの提供を通して、豊かで快適な暮らしや社会経済活動の発展に貢献する。
- 新たな使命: カーボンニュートラル、地域の防災・レジリエンス強化等の新たな社会的課題に対するソリューションを創造し、持続可能な社会の実現に貢献する。

当社は、この使命を果たしつつ、社会と共に持続的な成長を遂げることを目的として策定した「東光高岳グループ企業行動憲章」の実践をサステナビリティの基本方針とします。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SDGs(持続可能な開発目標)とは

SDGsとは、2015年の国連サミットで採択された、2030年までに達成を目指す国際目標です。「誰一人取り残さない」という共通理念のもと、17の目標とそれを達成するための169のターゲット(より具体的な目標)が設定されています。



持続性に関する重要課題/CSRの取り組みとSDGsとの関連

CSRテーマ	重要課題	取り組み項目	具体的な取り組み項目	関連するSDGs目標
E 環境	カーボンニュートラル	<ul style="list-style-type: none"> ● 省エネルギー活動のさらなる拡充 ● 再生可能エネルギーの積極的な導入 ● 事業活動で使用する電力への低炭素電源の適用 ● TCFD提言に基づく気候関連の財務情報開示 	<ul style="list-style-type: none"> ● EV普及を後押しする充電インフラ・サービス(急速充電器のラインナップの拡充/LPガス一般停電用予備発電機と接続可能なEV用急速充電システム)【具体例①】 ● 環境負荷の小さい機器開発・販売(植物油変圧器等) ● 再生可能エネルギーを活用した事業運営を支える製品・サービス(風力発電設備用雷電流計測装置)【具体例②】 ● 省エネとマネジメントをデジタル化でサポートする製品・サービス(T-ZoneSaver、エネルギー地産地消モデル「リソルの森」の新エネ大賞受賞、DX-EGAを活用したSustana(株式会社三井住友銀行協業)、「令和4年度蓄電池等分散型エネルギーリソースを活用した次世代技術構築実証事業」への参画等)【具体例③】 	
	環境方針	<ul style="list-style-type: none"> ● 脱炭素社会の構築 ● 循環型社会の構築 ● 環境保全の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 【具体例①】 短時間充電を実現する大容量急速充電器 【具体例②】 風力発電設備の稼働率の向上をサポートする風力発電設備用雷電流計測装置 【具体例③】 人の在席状況を検知、照明・空調をコントロールし環境負荷を軽減(T-ZoneSaver) 	
	気候変動対策	<ul style="list-style-type: none"> ● 再エネ電源の有効活用 ● グリーン電力の購入 ● 工場照明のLED化 ● 構内変圧器の更新(高効率化) ● 空調設備の更新(高効率化) ● ビル照明管理システムの導入 ● 蒸気ボイラーの運転制御の最適化 ● 蒸気配管の合理化(短縮、断熱強化) ● SF₆ガスレス機器の開発加速 ● SF₆ガス回収装置の導入 		
	環境管理体制	<ul style="list-style-type: none"> ● ISO14001(環境マネジメントシステム) ● 環境内部監査 		
	環境保全活動	<ul style="list-style-type: none"> ● 温室効果ガス排出削減(エネルギー由来CO₂削減、SF₆ガス排出抑制) ● 産業廃棄物削減 ● 環境負荷物質低減 ● 化学物質排出量、移動量管理 		
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境法規等の遵守 ● 環境パトロールの実施 ● 環境教育の実施 		
S 社会	人権の尊重	<ul style="list-style-type: none"> ● 人権方針 	<ul style="list-style-type: none"> ● 社員を含むステークホルダーとの関係強化(次世代育成や女性活躍推進に資する各認定の取得、ダイバーシティ講演・研修の開催、リモートワーク環境整備などの働き方改革の推進など) 	
	ダイバーシティへの取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ● 女性活躍推進 ● 性の多様性 ● 外国人材の採用 ● 障がい者雇用 ● 女性活躍推進の認定取得 	<ul style="list-style-type: none"> ● 価値向上に社員の力を発揮させるためのリスキリング教育(人財育成センターの組成:2023年6月) ● 地域社会の安全・安心・生活基盤において、豊かな暮らしへの貢献(奉仕活動、防災協定など) ● 海外における電力が十分に行き届かない地域への貢献(海外EPC事業の推進)【具体例④】 	
	ワークライフバランスの取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ● 働き方改革 ● 付加価値を生み出すためのオフィス改善 ● 育児と仕事の両立支援 ● 継続就業 ● 長時間労働対策 ● 人財育成への取り組み ● 研修 		
	地域社会への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域住民への貢献と交流 ● 地域防災への貢献 ● 清掃活動 		
	安全への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ● 安全衛生目標 ● 安全月間の取り組み ● TKT安全考動3原則/災害の連鎖を断ち切るための施策 		
	品質管理への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ● 品質方針/品質保証体制/品質データベース/品質情報の発信/変更点・変化点に対する不具合未然防止活動/品質意識向上活動/内部品質監査員教育 	<ul style="list-style-type: none"> 【具体例④】 タカオカエンジニアリングによるタジキスタン共和国での施工実績 	
	資材調達	<ul style="list-style-type: none"> ● 調達方針 ● サプライチェーンを含めたCSRの推進 ● サプライチェーン情報セキュリティリスク低減活動 		
G ガバナンス	ステークホルダーとの対話	<ul style="list-style-type: none"> ● 対話の方針 ● ディスクロージャー・ポリシー 		
	コーポレート・ガバナンス体制	<ul style="list-style-type: none"> ● 取締役会 ● 監査等委員会 	<ul style="list-style-type: none"> ● 事業を取り巻く状況の変化に対応した迅速な経営判断(GXソリューション事業本部の組成:2022年6月) ● 自社目線だけに陥らない社外目線の監督機能を取り入れた経営 ● デジタル技術を活用した経営情報の迅速な組成と意思決定支援(DX認定事業者への選定) ● 資本効率の視点に立った事業成長を促進させるROICを活用した経営戦略の検討 	
	コンプライアンス	<ul style="list-style-type: none"> ● 企業倫理に関する行動憲章と行動指針 ● 企業倫理委員会と企業倫理相談窓口 ● 企業倫理活動 ● 法令遵守に向けた取り組み 		
	リスクマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> ● リスクマネジメント ● リスクマネジメント体制 		